

# 緑化だより

No.128 平成29年6月号



モリアオガエルの産卵

6月は月曜日が休園日です

- 季節の花(ウツギ)
- 小さな世界こけ
- 昆虫の話(愛のプレゼント)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内



ryokka 理学の本  
**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**  
〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

# 季節の花

## ウツギ

「卯(う)の花を腐(くだ)す長雨(ながめ)の 始水(はなみず)に  
寄る木屑(こつみ)なす 寄らむ子もがも」

大伴家持 (越中での作) 万葉集 卷19:4217

(卯の花が腐るほどに降る、長雨の流れの先頭に寄り集まる、木屑のように、娘たちが寄って来ないものか。)

この歌は750年(奈良時代)の旧暦5月、梅雨の晴れ間に詠まれています。家持が32歳の時です。

本格的な梅雨の前に降り続く雨を、大和言葉で「卯の花腐し(くだし)」と言いますが、家持はこれを詠んでいます。「長雨」は梅雨本番の雨のようです。

ウツギはユキノシタ(アジサイ)科の落葉低木です。北海道から九州まで、日当たりのよい山野の路傍や崖地に自生しています。漢字で「空木」と書きますが、幹の真ん中がうつろ(空虚)になり、中空になっていることが名前の由来です。卯月(旧暦4月)



ウツギ

に花が咲くことから別名、ウノハナ「卯の花」とも呼ばれます。材が硬く、腐りにくいため、桐のダンスや箱の「木釘」として使用されています。ウツギは神事にもよく登場し、大阪の住吉大社の創立記念日には、「卯之葉神事」があり、5月最初の「卯の日」に、卯の葉の玉串を神にささげる儀式が行われます。また、神社行事としてウツギで作った卯杖(うづえ)で田植え前の土地の災いを払い、その年の豊作を祈願する祭りごとがあります。このように、ウツギは、古代から邪気や悪霊を追い払う力があるとされ、敷地や畑に境界木として植えられていたそうです。

ウツギの白い花が咲く頃になると、どこかでホトトギスの鳥の鳴き声が聞こえてきます。初夏の一日を緑化センターの園内で、白いウツギの花とホトトギスの鳴き声を堪能してみたいはいかがでしょうか。(上村)

## 小さな世界 こけ

コケの中にはルーペを使わなくても姿が確認できるものがいくつかあります。ミズゴケの仲間、シノブゴケの仲間、ハイゴケ、オオシラガゴケ、ホウオウゴケ、ヒノキゴケ、オオカサゴケなどです。

今回はこれらの中からヒノキゴケとオオカサゴケを紹介します。

ヒノキゴケは、溪流沿いのやや湿り気のある腐植土や朽ち木の上などにこんもりと茂っていますが、乾くと葉は内側に巻き込みます。別名“イタチノシッポ”の通り、動物のシッポの様な柔らかな細い葉で、撫でるとふわふわした手触りです。

仲間に、やや小型のヒロハヒノキゴケ、ハリヒノキゴケがあります。



ヒノキゴケ

オオカサゴケもヒノキゴケと同様の環境を好み、溪流沿いのやや湿り気のある腐植土で見られます。暖かい地方のコケで、大きさは直径3 cmくらい、ロゼット状に葉を広げ、小型の種子植物のように見えるため、コケのイメージとは様子が異なります。一株だけ生えているのは、時々見られますが、あまり大きな群落にはならないようです。株は地下茎を伸ばし、そこから地上茎がでて葉を広げ株を増やします。



オオカサゴケ

日本中部以北の寒い地方では仲間のカサゴケが生育します。高さ2~3 cmと小型で、葉はやや丸みを帯びています。

ヒノキゴケもオオカサゴケも南方系のコケで西南日本に分布します。(山根)

## 昆虫の話

### 愛のプレゼント

5月から梅雨の時期にかけて林を歩いていると、まるでサソリのようにお尻を曲げたヘンテコな昆虫が茂みから飛び出して来ることがあります。この空飛ぶサソリの正体は「シリアゲムシ」という昆虫です。

彼らはシリアゲムシ目という小さなグループに属する昆虫の総称です。オスの腹部の先端にはハサミがあり、腹部を曲げ上げる姿からこの名前がついたようです。英語ではこの腹部をサソりに例えて「スコープオンフライ」と呼ばれています。

彼らは、化石の研究や遺伝子の解析などから、幼虫から蛹になって成虫になる「完全変態」をする昆虫のなかで、一番古い起源を持っているのではないかとされています。シリアゲムシの祖先からチョウやハエ、ハチなどの昆虫が進化してきたのです。



シリアゲムシ

また、彼らは面白い行動をする昆虫として知られています。求愛のために、オスがメスに食べ物をプレゼントするのです。彼らは雑食性の昆虫で花粉や虫の死骸などを獲物にしています。オスは良さそうな獲物を見つけるとそれをくわえてメスを探します。そして見つけたメスの前にその獲物を置いて愛のプレゼントをするのです。メスがそれを気に入り、食べ始めると、食べることに夢中になっている間に、お尻のはさみを器用に使ってメスを捕まえるのです。この愛のプレゼントは婚姻贈呈と呼ばれ、昆虫では他にオドリバエと呼ばれる狩りバエの仲間などに知られている行動です。メスとゆっくり交尾するためのオスの戦略だと考えられています。

こんな変わったシリアゲムシ、もっと変わっているのはその顔です。細長い馬面の頭部にギョロっと大きな目と、小さな口吻と…こんなに変わった頭の生きものはなかなかいないのではないかと思います。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)

## 研修会のご案内

- |   |  |
|---|--|
| <p>○ 6月11日(日) 『6月の自然探勝』<br/>初夏の樹木と草本観察<br/>※自由参加、無料</p>                           | <p>10:00～12:00 学習室 集合<br/>講師：森林インストラクター<br/>駄賀 恒男</p>                |
| <p>○ 6月11日(日) 『みんなで学ぼう<br/>イネ科草本の同定法』<br/>その-2 初夏の身近なイネの仲間<br/>※自由参加、無料、ルーペ持参</p> | <p>13:00～15:00 学習室 集合<br/>コーディネーター<br/>駄賀 恒男</p>                     |
| <p>○ 6月18日(日) 『常緑樹の剪定講座』<br/>春の庭木の手入れ実習<br/>※要予約(先着20名) 無料</p>                    | <p>10:00～12:00 学習室 集合<br/>講師：NPO 法人「樹木匠ひろしま」<br/>工藤 徹</p>            |
| <p>○ 7月2日(日) 『7月の自然探勝』<br/>梅雨の合間の植物たち<br/>※自由参加、無料</p>                            | <p>10:00～12:00 管理事務所前 集合<br/>講師：環境省希少野生動植物種<br/>保存推進員<br/>吉野 由紀夫</p> |
| <p>○ 7月2日(日) 『絵手紙教室』<br/>木々の葉のかたちで楽しもう<br/>※要予約(先着30名)・材料費300円</p>                | <p>13:00～15:00 学習室 集合<br/>講師：日本絵手紙協会公認講師<br/>香川 道子</p>               |

## ◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・陶芸作品展「陶友会」

5月2日(水)～6月11日(日)

・七宝焼作品展「七宝焼同好会」

6月14日(水)～7月23日(日)

(ボード展示)

・広島ボタニカルアート ソサイエティ展

6月7日(水)～7月9日(日)



昨年の七宝焼作品展より

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

第16回ひろしま「山の日」県民の集い  
(レストハウス前/ほか)

6月4日(日) 10:00～15:00

森林整備、ノルディック・ウォーク  
ネイチャーゲーム、紙ヒコーキ飛ばし  
草花販売など



昨年の広島ボタニカルアート  
ソサイエティ展より

## ～森林公園イベント情報～

6月4日(日) 第16回ひろしま「山の日」県民の集い

6月11日(日) スタンプラリー

6月17日(土)・18日(日) 森のピザづくり

(往復がきで事前応募)